

# SDGs～持続可能な取組～



「SDGs」を広めよう！

田原本町立南小学校

6年

総合的な学習の時間

めあて

環境に配慮した生活や物の使い方などの生活をふり返り、自分たちの生活の中から課題を見出し、自分たちにできることを考えるとともに行動に移す

今現在、子どもたちは、何不自由なく生活している。水道をひねれば水が出る、食べたい物が食べられる、暗い夜も電気の下で生活できる・・・当たり前の生活である。しかし、地球上の子どもたちは、みんな自分たちと同じような生活をしているのだろうか。そこで、世界に目を向け、現実を知るところから取組を始めた。

<世界に目を向けよう>

インターネットを使って世界の子どもの生活を知る

→電気が通ってない国や地域がある。遠くまで水を汲みに行く子どもがいる。学校に通えない子もいる

<課題を見つけよう>

「かわいそう」「日本で生まれてよかった」で終わるのではなく、同じ地球人として、自分たちに出来ることはないかな？考えてみよう！

・課題を見つける際のポイント

①SDGsについて ②節電 ③節水 ④残食 ⑤ジェンダー ⑥ごみの減量化

<広めよう>いろいろな課題が見つかった→調べてみよう→伝えよう

→給食の残食を調べた結果をポスターや全校放送で啓発する

→低学年の子たちにもSDGsについて教えてあげよう！

※SDGsについて調べたグループはスライドショーにまとめ、ジェンダーについて調べたグループはカルタを作成し、1,2年の児童に報告した。節電、節水、ごみ減量化について調べたグループは新聞を作成し、クラスで共有、さらに家庭にも新聞を配布した。

<児童の変容と課題>

学習を進める中で、自分たちにできることを行動に移そうとする意識が芽生え始めた。残食0が何か月も続いているというのは、その表れであると言える。また、学校生活の中で、子どもたちから「SDGs」という言葉が聞かれる場面が増えた。

今後も自分たちの身近なところから見出した課題について、自分たちにできることを考え、解決する力を身に付けていきたい。



こちらのQRコードをe-net.naraのアカウントで読み取ると他のジェンダーカルタを見ることができます。